

資料⑥：今後の進め方(案)

平成 28 年 2 月

南 城 市

1 「おでかけなんじい」の運行計画に関する取組

本会議で検討した「回数券の発行」、「減便・運行取り止め」以外にも、これまでの交通会議において、以下のような課題が示されており、引き続き検討します。

■ 市外の特定の目的地までの運行

路線バスへのアクセス利便性を高めるため、与那原町の「大里入口バス停」までの運行を検討

■ 市外の交通手段との連携

糸満市が運行している空港直行バス「いとちゃんバス」等の市外の交通手段との連携の可能性、連携方策を検討

■ 観光客向けの周遊券等の発行

観光客の南城市内の観光利便性を高めるため、周遊券、1日乗車券の発行を検討

■ 市内事業者との連携

現在実施されている「イオンタウン南城大里」の買い物金額に応じた「おでかけなんじい」の無料券進呈のような事業者と連携した新たな取り組みを検討

■ 市民向けの広報の実施

「おでかけなんじい」の登録促進、利用促進に向けた新たな広報(案)を検討

■ 市外での広報実施

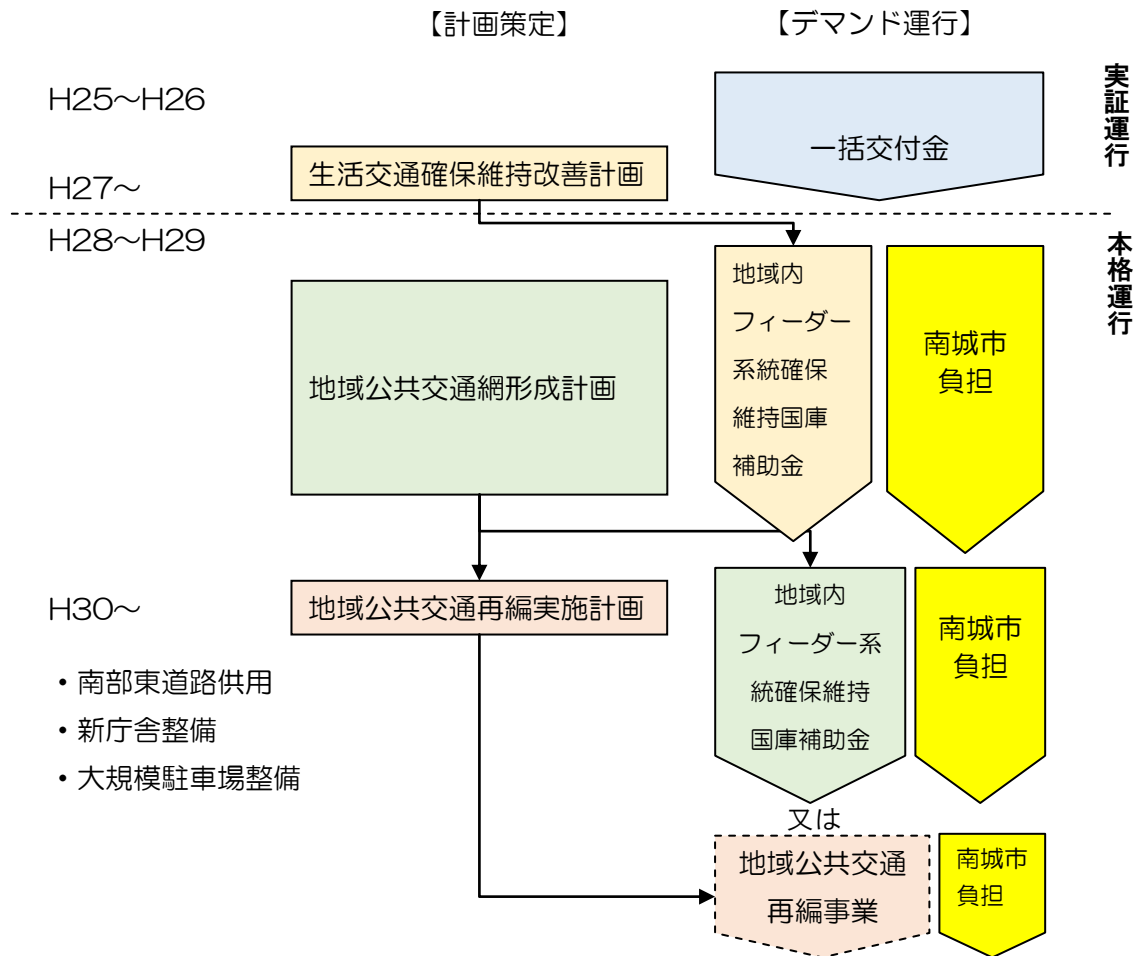
路線バス等と「おでかけなんじい」の乗り継ぎ利用を促進するため、市外の病院や商業施設等での広報を検討

■ 観光客向けの広報実施

観光客の利用促進を図るため、HP等での広報を検討

2 公共交通網再編に向けた取組

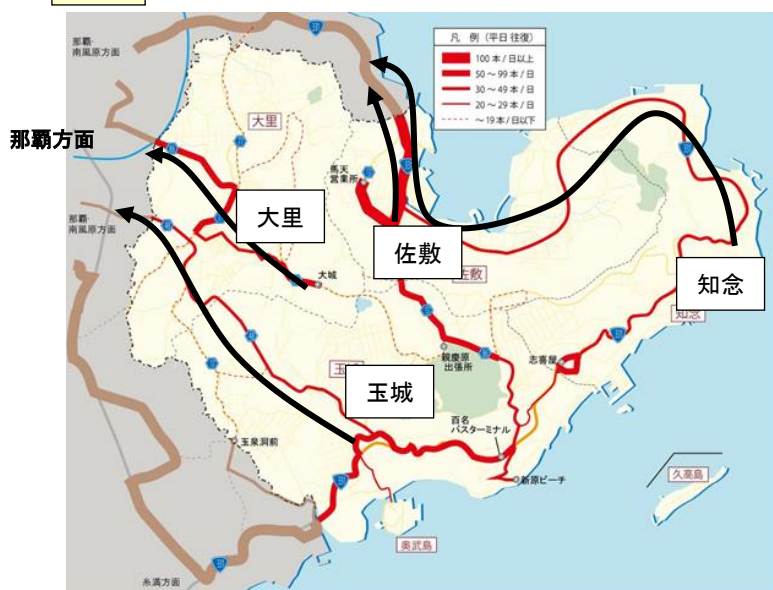
第3回公共交通会議で検討したように、南部東道路の供用や、南城市新庁舎、大規模駐車場の整備を見据えた「地域公共交通網形成計画」などの策定を進めていきます。



<公共交通網再編のイメージ>

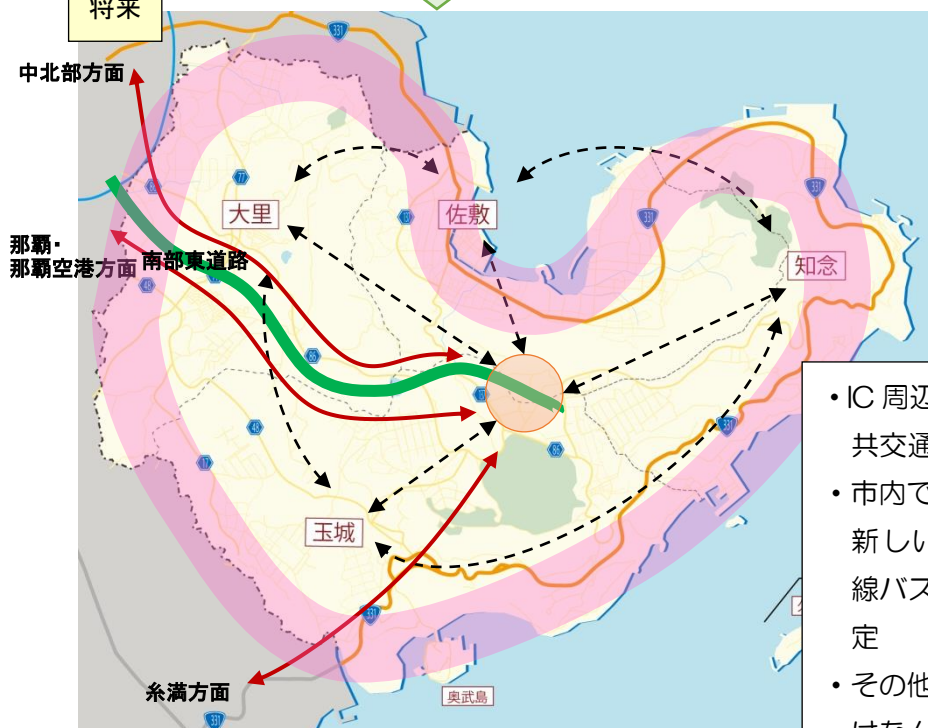
南部東道路や、新庁舎、大規模駐車場の整備を見据え、南城市外への移動を路線バス、市内の移動は「おでかけなんじい」という棲み分けを図り、新庁舎周辺に形成される新たな拠点を核とした交通体系の構築を目指します。

現状



- 各まちの拠点から那覇方面にアクセス
- まちの拠点間の結びつきは弱い

将来



- IC 周辺の新しい拠点を核に、公共交通網を形成
- 市内でも一定の需要が見込める新しい拠点～町の拠点間は路線バス（コミバス）の運行を想定
- その他の市内の移動は「おでかけなんじい」が担う。